

政家
必攜
各國年鑑

川路實業堂譯

第二冊

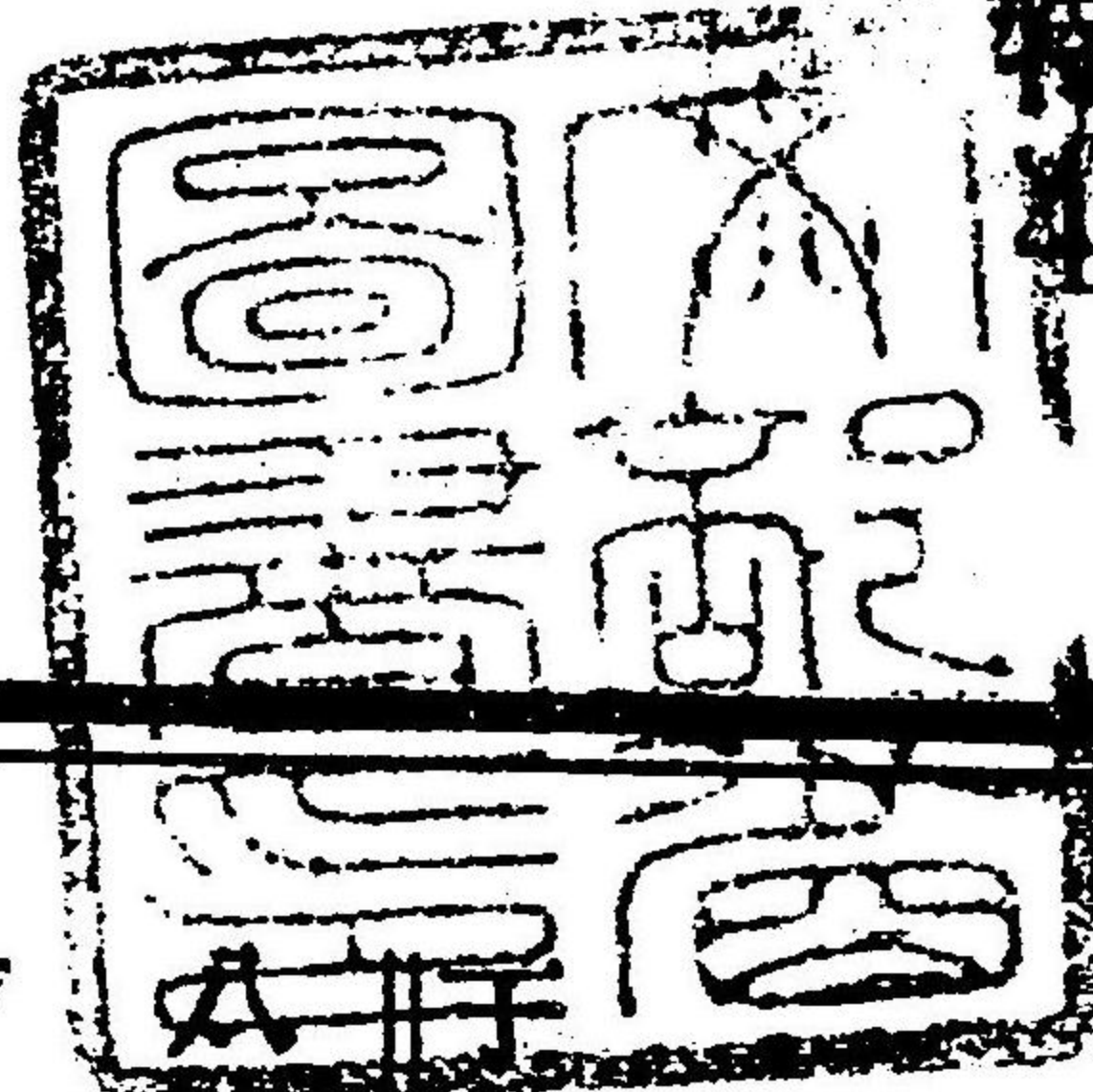
特39

401

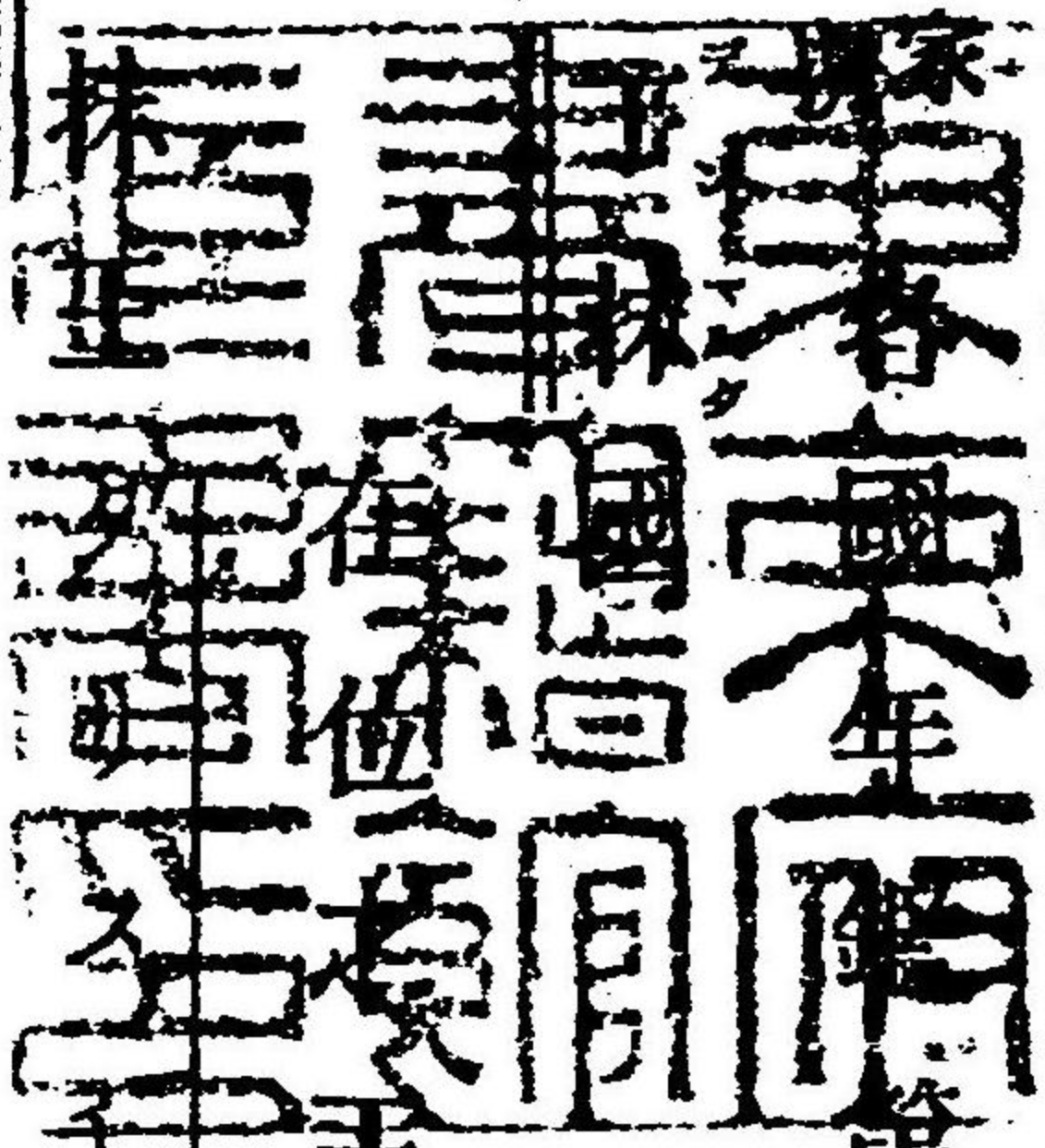
共
二
本

特39

401



必政



第二册

王並王族

チアン第九世ハ一千八百十八年第四月

日ノ生誕父ハ故ノセルスウイグホルステインソン

デルスボルググレイクスボルグノシウク公ウイルヤ

ム母ハヘツスカツセルノプリンセス王ルイセナリ○

一千八百四十二年第五月ヘツスカツセルノランドグ

ラーブ侯ウイルリヤムノ女ルイセナ王娶テ王后ニ立一

千八百六十三年十一月故王ニ嗣テ即位セリ王ノ子

女六人曰ク太子フレデリツキ曰ク王女アレキサンド

ラ英國ノ皇太子ニ嫁ス曰ク王子ウイルヘルム初メ丁

抹ノ水師提督ニ任シ一千八百六十三年撰レテ希臘ノ
 王タリ曰ク王女マリヤダグマ魯國ノ皇太子ニ嫁ス曰
 ク王女テイテラ曰ク王子ワルデマ
 王ノ姪妹兄弟七人アリ曰クシウクカール曰ク王女フ
 レデリカ曰ク王子フレデリック曰ク王子ウイルヘル
 ム曰ク王女ルイセ曰ク王子ヅリウス曰ク王子ハンス
 丁國ノ王位ハ往古ヨリ公推ノ王ナリシガ一千四百四
 十八年スブンドエストリゼン家ノ貴族血統ノ嗣子逝
 去セシ後丁國ノ委員會議シテオルデンビルグノユン
 ト伯爵グリスチアン第一世ヲ立テ丁王トナシタリ其已
 來其族連綿ト王位ヲ襲クテ四百有餘年然レモ一千六
 百六十年ノ頃迄ハ王位世襲ノ權利ヲ全ク得タルモノ

ニハアラシ〇一千八百六十三年十一月第十六代ノ
 王フレデリック第七世崩シテオルデンビルグ家ノ嗣
 子ナク遂ニ王位ヲ虚シフセリ然ルニ歐羅巴盛大ノ國
 々深クユレテ憂ヒ各國權力ノ平均ヲ得永ク太平ヲ保
 タントノ意ニテ丁國ニ王アラシトテ希ヒ一千八百五
 十二年第五月八日倫頓ニ於テ定議簽印シ故ノ丁王ク
 リスチアン第八世ノ女姪ルイセノ子クリスチアンヲ
 立テマ_二丁王トセリ
 一千八百六十三年議會ノ定議ヲ以テ今王ノ歳資ヲ每
 年五十万リグスダールレ_一丁一貨ノ各即チ我二十七万
 ト定メ同六十八年太子ノ歳資ヲ六万リグスダール
 我三万八千五百三ト定メタリ
 十圓〇八錢ニ當ル

オルデンビルグ家クリスチアン第一世ノ王位ニ公推
サレシヨリ王位ノ聯續左ノ如シ

- クリスチアン第一世即位一千四百四十八年
- ハンス 同 一千四百八十一年
- クリスチアン第二世同 一千五百十三年
- フレデリック第一世同 一千五百二十三年
- クリスチアン第三世同 一千五百三十三年
- フレデリック第二世同 一千五百五十九年
- クリスチアン第四世同 一千五百八十八年
- フレデリック第三世同 一千六百四十八年
- クリスチアン第五世同 一千六百七十年
- フレデリック第四世同 一千六百六十九年

- クリスチアン第六世同 一千七百三十年
 - フレデリック第五世同 一千七百四十六年
 - クリスチアン第七世同 一千七百六十六年
 - フレデリック第六世同 一千八百〇八年
 - クリスチアン第七世同 一千八百四十八年
- 以上オルデンビルグ家ノ十六代丁國ノ王位ニ在ル
合シテ四百十五年ナリ
- モルスウイグ、ホルスタイン、ソンドルスボルグ、グルイ
クスボルグ家
- 今王クリスチアン第九世即位一千八百六十三年

國憲 政體

丁國當今ノ國憲ハ初メ一千八百四十九年第六月五日

ノ權書ニ於テ確定セシ後一千八百五十五年同六十三
 年同六十六年ニ於テ之ヲ改定セリ。○新憲ニ從ヒ行政
 ノ權ハ國王並ニ執政官ユレテ典リ立法ノ權ハ議事會
 並ニ國王ノ協力ニ在リ。○福音ルセラシテ教トノ權ハ議事會
 派ヲ以テ國教ト定メ國王ハ必スソノ宗門タルベキト
 也。議事會ハ上下ノ二院ニ分チ上院ノ議員合シテ六十
 六人内十二人ハ元下院ノ議員タリシモノ歟或ハ現今
 其任ニ在ルモノ内ヨリ王命ヲ以テ之ヲ特撰シ生涯
 其任ニ在ラシム其餘ノ五十四人ヲ舉ルハ撰者會ノ權
 ニ在リ其撰者議院ヲ撰ハ各郡豪家ノ本人即出ス租稅モ
 多キ者都府ニアル豪富ノ代理人並ニ總人民ノ委員ナ
 リ然シテ其撰ニ當リ議員タラシモノハ門地ヲ論ビズ

齡三十歳已上ニテ名聲ノ聞ユルモノヨリ撰舉シテ其
 任ニアラシムルト八年トス下院ノ議員ハ當時一百〇
 一人アリ普民ノ公推ヲ以テ舉ラレ諸民ノ委員トナッ
 テ立法ノ權ヲ掌リ三年ヲ限リ其任ニアラシムルモノ
 ナリ。○夫レ國民生年二十五歳以上ノモノハ普ク委員
 ナリ撰クルノ權利ヲ有ツト雖モ當時公ノ賜恤ヲ受或ハ
 己ノ居家ナク他人ノ使役ニ給シ或ハ其撰區郡邑府下
 處ニテ其委員撰簿ニ録シ一分區ノ處ナリ各ニ在住セシ
 ト未ダ一歳ニ充タザルモノハコレニ預カルトナリ許サ
 ズ然シテ其撰ニ當リ委員トナツテ下院ニ出ルモノハ
 齡三十歳以上ニシテ頗ル名聲ノ聞ユルモノナルベシ
 ○上下兩院ノ議員皆同等ニ其給料ヲ受收ス

毎年十月議事會ヲ開キ財務ニ關係スルノ事件ハ悉ク
下院ノ協議ニ委ヌ上院ハ管ニ立法ノ議ヲ公定スルノ
ミナラズ第一等裁判所ノ判事副官四人ヲ四年毎ニ新
撰スルノ職任ニ當レリ○執政官モ上下ノ議院ニ出入
スルヲ許サズルト雖モ其議員ノ列ニアラズシテ發
訛ヲナスヲ許サズ
行政ノ事務ハ執政官ヲ七省ニ分テ各其責ニ任セシム
當時職員左ノ如シ

政務總裁職

ヨント、ホルステイン、ホルステインボルグ

外務卿

パロン、オット、ロセノオルン、レーン

内務卿

クリステン、アンドレアス、ホンチスベツク

文部兼教部卿

カアール、クリステイン、ホール

司法卿

クリステイン、エス、クレイン

大藏卿

アンドレアス、フレドリツク、クリエゲル

海陸軍卿

コロ子ル、ウオルフガング、フオン、ハツフ子ル

丁國屬地ノ第一タルハ氷國ナリ其國內ヲ四縣ニ分テ
縣ヲ又多少ノ小區ニ部分シ各縣ニ官吏一人ヲ置キ以
テ縣ノ事務ヲ管セシメ租稅ヲ徵サシム然レモ全國ノ
總鎮臺常ニ其首府レイクヤビツクニ在ツテ百事ヲ總
管ス○氷國ハ別ニ其法制ヲ定ムルノ議會アリ其議員
ハ二十六人内五人ハ王命ヲ以テ撰任シ其餘ハ民ノ公
推ニ依レリ

教法 文學

丁國ノ定教ハルセラン教ニシテコレ一千五百三十六

年ノ頃既ニ此國ニ入りタルモノナリ國民ノ教會ヲ總管スル七人ノ教師各地ニ在ツテ殆ド英國ノ教師ニ於ルガ如キ權利ヲ有スト雖モ立法ノ事務ニ預ルヲ得ズ唯管下ノ門徒ヲ監督シ天道ヲ講論スルノミ

國憲第七十六款ニ云ク國內ノ人民上帝ヲ崇欽スルノ道ハ各其好ムトコロニ依テ區々ノ宗派アルヲ許スト雖モ人倫ニ悖リ公法ヲ亂ルヲ許サズ又第七十七款ニ云ク已レノ宗派ニアラザル教會ノ資金ヲ出ストヲ許サズ

一千八百七十年ノ戶籍ヲ閱スルニ總人口ノ内ルセラ

ン教ニ非ザルモノハ僅ニ百分ノ一ニ充ズ其内四千四百人ハ猶太教一千五百八十五人ハ羅馬教一千四百三

十人ハガルビニスト教二千〇六十九人ハモルモン教三千一百五十七人ハアナバズチスト教五十七人ハアングリカン教一千一百八十一人ハ自由ノ社中ト云モノナリ

丁國ニテハ幼童ノ教育ニ能ク力ヲ用ヒ凡ソ幼童ノ生年七歳ヨリ十四歳マデノモノハ必ズ學校ニ在シムル

ト通例ナリ國憲第八十五款ニ依テ國內ノ貧民其子女ノ學資ヲ出シ難キモノハ公費ヲ以テ之ヲ公學校ニ入レシム

〇ユーペンハーゲン丁國ノ大學校ノ外各都府ニ大學校合シテ十三アリ皆典章學羅甸希臘ノニ至ル

造ヲ教授スル處ナリ其以下ニ中學校ヲ設ケテ商賈等

タラント欲スルノ幼童ヲ教育ス其他全國内一般ニ教

堂區ノ小學校アリユレ皆公費ヲ以テ給供スル處ノモ
 ノナリ一千八百六十九年ノ計算ニ全國合シテ此小學
 校ノ數二千九百四十ニ及ブト云

歳入 歳出

一千八百七十一年第三月三十一日計算スル處ノ丁國
 歳入並ニ歳出ノ總金高左ノ小表ニ揭示ス

歳入ノ計	歳出ノ計	差引殘高
丁貨リクスダアーレル	英貨ポントステルリソグ	
二三四一九六二二	二六〇二一八〇	
二一九〇四〇〇三	二四三三七〇〇	
	一六一五六一九	一六八四八〇

丁國ノ國憲ニ於テ年々議會ノ初メ則チ歳計定算ノ後
 凡ソ六ヶ月ニシテ其歳計書ヲ下院ノ議會ニ出シ之ヲ

四人ノ監督官ニ附シテ検査ヲナサシム其監督ノ二人
 ハ上院ニテ擧ゲ二人ハ下院ニテ撰マレ充分ノ權ヲ持
 テ嚴密ニ検査ヲナシ若シ事ノ次第ニ因テハ會計職員
 ニ問ヒ或ハ簿書ヲモ閱スルヲ許ス〇歳計書ヲ出セ
 シノ時ヨリ次年ノ定額歳資ヲ定ムル迄ノ間ハ大藏卿
 ヨリ次年歳資ノ増減ニ關スルノ説ヲ發スルヲ得故
 ニ歳出ノ一議ニ於テハ論說紛紜トシテ四ヶ月ヨリ六
 ケ月ノ日ヲ涉ルヲアリト云
 一千八百七十年第三月三十一日ヨリ同七十二二年同月
 同日迄連年ノ歳計ヲ爰ニ掲ゲ以テ出入各種ノ詳細ヲ
 示ス

歲入各種	一千八百七十年ヨリ 同 七十一年迄	一千八百七十一年ヨリ 同 七十二年迄
直稅	三九八八一五一	五三二九〇六五
間稅	九五五三六〇〇	九七二二六八三
官地官物之納	四八二三二九四	四五七二八七七
地稅並森林稅	五〇八八九二	五二三二六三
郵便並電信之納	一一四八四七	一七五四二五
屬地ヨリノ收入	一一四七一六	七〇八五一
雜科歲入	六三〇九七四	五五九八九九
全計	一九七三五六〇一	二〇九五四〇六三

歲出各種
一千八百七十年ヨリ
同 七十一年迄
一千八百七十一年ヨリ
同 七十二年迄

國王之歲資	七一三五二四	七一三五二四
議會之定額資	一〇〇〇〇〇	一〇〇〇〇〇
政務總裁官之定額	五三三〇八	五三三〇八
外務省之定額	一八三二四四	一八三九〇八
內務省之定額	六五二二八七	六一三三七八
文部省之定額	三三一六三三	三一九五一一
司法省之定額	一一一八七〇九	一一一二三三四
大藏省之定額	五四五八七四	六二五二九六
陸軍省之定額	四四八九二五一	四四〇五八六九
海軍省之定額	二〇一七七九〇	一八一八三一六
公債ノ利息	七一六四九三九	七二八〇二七〇
養老料	一九一八六三三	一八三六三九一
鐵道築造費	一八三七八七一	一五二四四二一
全計	一一二七三六三	二〇五八六五二六

貨丁リクスダール
貨丁リクスダール

曩ニ國憲改正ノ以前連年歳入ノ不足モシテ並ニ鐵道燈臺或ハ港灣ヲ修築セシ工業ヨリシテ公債ヲナシタルモノヲ算スルニ一千八百七十二年第三月ニ於テ一億一千四百七十二万八千三百リクスダールノ高ニ充テリ然レモ追次ニ減少スルノ方法アレバ爰ニ小表ヲ掲ゲ以テ一千八百六十六年以來公債ノ多寡ヲ示ス

年紀	公債	本
一千八百六十六年	一三三二一〇八〇二	一四八六二四六五
一千八百六十七年	一三〇六〇九七二一	一四五二二一九一
一千八百六十九年	一二九一四一〇八六	一三三三九八七二
一千八百七十年	一二六二七〇三五〇	一二九三〇〇三九

一千八百七十一年	一二七〇九七三〇〇	一三〇一〇八一七
一千八百七十二年	一二四七二八三〇〇	一二七四七五八九

丁國ノ公債ハ内債外債ノ二様ニシテ外債ノ最タル者ハ一千八百二十五年英國ニ於テ約定セシ處ノ負債ナルベシ然レモ一千八百七十八年迄ニ其債本ナル英貨五百五十万ポンドステルリングノ高ヲ返濟スルノ方法ナリ

海陸軍制

丁國ノ陸軍ハ一千八百六十七年第七月六日ニ於ル議會ノ定法ニ隨ヒ全國ノ普民生年二十一歳以上ノ者ヲ以テ隊伍ニ編制シ八年間常備軍ニ在ラシメ又八年間預備ノ兵トナスナリ練兵ヲ二節ニ分チ歩兵六ヶ月野

砲兵並ニ工兵ハ五ヶ月騎兵ハ九ヶ月二周日攻城砲兵並ニ工藝兵ハ四ヶ月ノ操練ヲナスユレテ第一節ト云ヒ步兵ハ九ヶ月騎兵ハ十一月砲兵工兵ハ十二月ノ操練ヲナスモノヲ第二節ト云然シテ第二節ハ各種ノ隊伍ニ新入セント欲スル新兵ノ爲特ニ設クルモノナリ〇一千八百六十七年ノ定法ニ依リ全國ノ兵ヲ分ツテ五鎮ノ兵軍トナシ一軍ヲ又四大隊ニ分ツ凡何レノ都府首府又ハ一郡ニテモ一大隊以上ノ兵ヲ出スヲ得ス然シテ尚ホ各鎮毎ニ步騎砲等若干ノ預備兵ヲ置キ以テ不虞ニ供ス

全國常備軍ノ布置定數ハ近來ノ定則ニ於テ步兵二十大隊騎兵五聯隊砲兵二聯隊ニシテ總人員ノ合計三万

六千七百八十二人其内士官一千〇六十八人アリ

丁國ノ海軍ハ一千八百七十二年第九月ノ整計ヲ閱スルニ甲鐵軍艦六艘蒸氣軍艦二十艘艦砲ノ數三百十二門海兵ノ數九百〇一人アリユレテ管スルモノハ艦隊都督十五人カビテン船將三十四人士官六十七人アリ

土地 人口

一千八百七十年第二月一日整定ノ戶籍ニ從ヒ丁國各州ノ人口概表ヲ左ニ揭示ス

州名	土地 地理料尺 ノ方里	土地 英國尺ノ 方里	人口 一千八百七 十年整計
ゼーランド並ニムーン州	一三三三	二七九三	六三七七一
ボルンホルム州	一〇六	二二一	三一八九四
フイチン並ニランゲラント州	六一九	一三〇二	二三六三一

全計	六九三九	一四五五三	一七八四七四一
ヨットラント州	四五八〇	九五九七	七八八一一九
ロルランドフアルステル州	三〇一	六四〇	九〇七〇六

丁國ノ公報ニ從ヘバ歐羅巴ニ在ル三處ノ屬地ナルフ
 イルウー島アイストラント氷並ニグリインランドノ西
 部ハ全ク丁國ノ部分ニ計入ス〇フイールウー島ト云
 ルハ二十二ノ小島ヲ合セ稱スルモノニテ其中十七島
 ハ住民アリテ人口ノ總計九千八百十五人土地ノ廣サ
 四百五十五英尺方里ナリアイスラシドハ人口六万八
 千五百六十三人土地三万英尺方里グリインランドハ
 丁國管轄地ノ人口九千三百五十二人土地三万五千英
 尺方里ナリ以上一千八百六

丁國人口ノ繁殖スルコトハ近ク十五年來各州郡ニ於ル
 ヨリモ都府ニ於テ盛ンニ増殖スソノ比例ヨツベンハ
 一ケン府首ニテハ百分ノ八〇五其他ノ都府ニテハ百分
 ノ五九九ニ及ベリ然シテ州郡ノ大ナルモノニテハ僅
 ニ百分ノ五九九ニスギズユニ其一例ヲ舉ルニ一千
 八百六十年間ヨツベンハーケン府ノ人口十五万五千
 一百四十三人ナリシガ同七十年ニ至テハ十八万〇八
 百六十六人トナレリ

商務 工業

丁國ノ貿易ハ日耳曼並ニ大英國ニ通商スルモノヲ以
 テ最トナス日國ニ於ルモノノ平均品價一百五十万ポ
 ンドステルリンダ貨英國ニ於ルモノ殆ンド二百三十

万ポンドステルリングノ高キ越ユ然シテ其二國ニ次
グハ瑞典又ハ魯西亞ニ於ルモノナラン

丁國ヨリ英國ニ向ケ輸出スル物品ハ田野產物家畜ノ
類ニシテ英國ヨリ丁國ニ輸入スルモノハ棉布鉄塊等
ナリ

一千八百六十八年第三月丁國ノ商船ヲ算スルニ帆船
ノ數三千一百三十二艘其噸數合シテ十七万五千五百
五十四噸蒸氣船八十艘其馬力合シテ四千五百六十六
馬力ナリ

屬地

丁國ノ屬地ハ本國ノ部分ニ屬スルフイルウ島アイス
ランドグリインランドノ三處ノ外面印度地方ニ三島

アリ曰シントクロイクス島曰シントトーマス島曰シ
ントシヨオン島ナリ其内最モ大ナルモノハシントク
ロイクス島ニシテ其土地ノ廣サ六十方里人口二万三
千一百二十四人シントトーマス島ハ凡ソ十三方里ノ
土地ニテ人口一万三千四百六十三人シントシヨオン
島モ亦凡十三方里ニテ人口一千五百七十四人アリ
右三島ノ住民多クハ皆黑人ニシテ砂糖ヲ採ルヲ以
テ業トナシ年々其輸出ノ價位大約一千二百万ヨリ一
千六百万ポントニ及ハリ

貨幣衡量尺度

丁國英國並ニ日本ノ貨幣衡量尺度ヲ比較シテ左ニ掲
示ス

ノ如シ

第一款

行政ノ首長ハ法蘭西共和政治ノ大統領ト云
ル官名ヲ帶ビ國會ヨリノ委任ヲ受テ行政
ノ事務ヲ主宰スベシ

第二款

共和政治ノ大統領ハ國會ノ議長ヨリ傳與ス
ル處ノ定法ヲ國內ニ公告シ行政ノ事務ヲシ
テ悉ク其國法ニ適セシメ自ラ亦國會ニ在テ
新法ヲ企テ又ユレテ商議スルノ權アルベシ
執政官ヲ更換スルモ亦其權ニアリ然レモ執
政官ハ國會ノタメ責任ニ當リタルモノニテ
大統領ノ布令ニハ必ス其名ヲ副署スベシ
共和政治ノ大統領ハ國會ヨリ委子ラレタル

第三款

責任ヲ負擔スルナリ

大統領ハ俸金トシテ年々六十萬フランクヲ收受ス

大統領

元帥 マクマホン

一千八百七十三年第五月二十四日任職ス

司法卿

内務卿

デグーラー

外務卿

シウツクテカゼー

大藏卿

レオン サイ

商務兼農務卿

教部兼文部卿

工部卿

デフールツー

陸軍卿

シユバレイル

海軍卿

ドンピエロドオルノイ

大統領若シ故アツテ不在ナルカ又ハ事務ニ擔當スル
 アタハザルトキハ執政官(各卿)ノ内一人大統領ニ代
 テ事務ヲ總管シ各卿ニ宰タルノ權ヲ有セシム然ルト
 キハ副統領ノ官名ヲ與フルモノナリ
 一千八百七十二年第五月ノ定法ニ因テ參知政事ト云
 ヘル職員ヲ置キ以テ行政官ヨリ國會ニ附與シタル議
 案ノ參考ヲオサシメ或ハ大統領其他執政官ノ施行セ
 ント欲ル事務ニツキ總テ咨詢ニ預ラシム蓋シ此職ハ
 曩ニ帝國ノ時置レタルモノト殆ソド相均シキモノナ
 ラン
 當今參知政事職ノ人員計四十三名ニシテ其内二十八

名ハ國會ヨリ撰舉サレタル者十五名ハ特ニ大統領ヨ
 リ命レタルモノナリ

教會 文學

一千八百六十六年第五月十五日ノ整定戶籍ヲ按ズル
 ニ全國ノ人口中羅馬教徒三千六百四十二万〇六百六
 十四人波羅特士教徒一百五十九万一千二百五十人猶
 太教徒十五万八千九百九十四人其他ノ門派二万一千
 人ナリ○法國ノ屬地アルゼリヤ國ニ於テハ同々教徒
 二百七十七万八千二百八十一人アリ○波羅特士教徒
 ノ計數ハ前ニ掲ケタレモ尙外ニ牧師會並ニ教會公局
 等ニ預ルモノアリ其徒ヲ算スルニ殆ソド一百万人ニ
 近シ

法國ノ法ニ於テ各派ノ宗教均シク其權利ノ經重ナシト雖モ羅馬教波羅特士教ノ二派ハ官ヨリ其廩祿ヲ給ス一千八百三十一年來猶太教モ亦其列ニ在リ○羅馬教師等ノ收受歲資ハ公私ノ贈與ヲ合シテ大約一億フヲソクニ及ベリ○羅馬教會牧師ノ主タル者八十六人其内總領牧師十七人監牧師六十九人ナリ其他總監牧師一百九十二人牧師七百二十三人波羅特士教徒ノ内アウグスビユルグ派ルウセルン派ノ門徒ハ宗教ノ事務ニ於テ教務總管理局ノ管轄ヲ受ルト雖モ改正教會即チ所謂カルビニストノ徒ハ別ニ一ノ總管事務局巴里西府ニアツテコレヲ總轄ス夫レ波羅特士教徒ノ管理ハ羅馬教ニ於ルガ如ク一千

八百〇一年共和政治ノ大法ニ依テコレヲ立定セシマアリタレドモ後路易那勃列翁第三世大統領タリシトキ一千八百五十二年其舊法ヲ革メ波羅特士教徒ノ總理ヲ以テ各教區ニ於ル一ノ牧師議會ニ委テタリ其議會ハ主教者並奉教者宗平常ノノ協議ニシテ其議員ハ教區ノ公推ニ依テ舉ラレ三年毎ニ更換ス然シテ右ニ云ル各區ノ牧師議會ハ皆管事務局ノ管下ニ在ナリ近世法國ニ於ル文學ノ教育ハ大ニ進歩ナシタリユニ其確證ナル學生増加ノ比例ヲ舉ルニ一千八百三十二年間ニハ人口一千人ニツキ學生タルモノ僅カニ五十九人ノ比例ナリシガ同四十七年ニハ一千人ニツキ九十九人同六十二年ニ至リテハ一百十六人ニ及ベ

リ然シテ右十六年間ニ幼童ノタメ建立セシ小學校ノ數八千五百六十六其學生ノ合計八十萬〇六千二百三十三人但シ一年ニツキ平均五千九百人ニ當ルナリ然レニ僅小ノ郡邑ニシテ學校ノナキモノ尙ホ八百十八郡アリテ其郡中ノ子弟ハ皆近傍ノ學校ニ送リテコレヲ教育スト云〇羅瑪教モ稀レニ學校ニテ説教シ子弟ノ齡十一二歳以上ノ輩ユレニ從事シ波羅特士ハ凡ソ十六歳以上ノ生徒ユレテ修學スルヲ通例ナリ

全國ノ幼童齡八歳ヨリ十一歳迄ノモノニテ學校ニ出デザルノ輩ヲ算スルニ通計凡二十萬人ナラシ然シテ一千八百六十三年中ニ算筆ヲ學ヒ得テ學校ヲ退キタル幼童ヲ算スルニ全國人口百分ノ六十ニ當レリ

一千八百六十三年第十月ノ公報ヲ按ズルニ全國小學校ノ數合シテ八万二千一百三十五アリ則チ一千八百四十八年間ヨリ増加セシモノ一万六千一百三十六字ニ及ハリ其他義學四万一千四百二十六字女學二万六千五百九十二字各地ニ布置ス

夫レ法國兵籍ノ統計ヲ以テ國內文學教化ノ量度ヲ知ルコ足レリ一千八百六十六年ニ於ル陸軍卿ヨリノ公報ヲ閱スルニ法蘭西全國ノ人民其名ヲ兵籍ニ掲クルモノノ内百分ノ三十八文盲無識ノ徒ニシテ數字スラ解レ難キモノナリト云然レモ文化ノ進歩ハ國ノ南北部ニ依テ大ニ差異アリテ一般東北部ハ南部ヨリハ進ミタルモノナラン

歳入 歳出

曩ニ法帝那勃列翁第三世在位ノ間ニ議定セシモノニシテ近ク一千八百七十一年迄行レタル定則ニ於テハ歳入歳出ノ計ヲ分テ各三種トナス歳入ハ一ニ定額ニニ異常三ニ特別ナリヨノ第三ハ公債ヲモ合セ稱ス歳出ハ一ニ定額ニニ異常三ニ補欠ナリ然シテ歳出入ノ計書定額ノ部ヲ第一ニ立法官ニ出シ異常並ニ特別補欠ノ部コレニ次ヒテ議案トナルトノ事通則ナリシガ一千八百七十二一年國會ノ議ニ依テコレヲ更メ異常出入ノ課銘廢シタリ

ヨコニ一千八百七十一年並ニ同七十二一年ノ歳計全數ヲ比較シテ左ニ掲載ス

歳入全計		歳出全計	
定額	一千八百七十一年定算	法貨 フランク	貨 フランク
特別	一八八〇九六一五七六	法貨 フランク	二四二九三六二六二五
全計	三〇九一五九〇一四	法貨 フランク	三二〇六二二七六一
特別補欠	二二九〇一二〇五九〇	法貨 フランク	二七四九九八五三八六
定額	法貨 フランク	法貨 フランク	法貨 フランク
特別補欠	一八五二二〇三九二八	法貨 フランク	二四一五三三五〇四〇
全計	三〇九一五九〇一四	法貨 フランク	三二〇六二二七六一
差引餘贏	二二六一二六二九五二	法貨 フランク	二七三五九五七八〇一
	二八八五七六三八	法貨 フランク	一四〇二七五八五

一千八百七十二一年國會ニ於テ定議セシ歳出入ノ品種ヲ掲クル左ノ如シ

歳入各種	一千八百七十二年
歳入定額	法貨 フランク
直税	三三三三七五七六六
間税	八〇三九三二〇〇〇
印税類	五七三四一四〇〇〇
海關並ニ邊ノ税	四〇四四三五〇〇〇
官林ノ納	六三四八五五〇〇
郵便ノ納	一一七六二八〇〇〇
電信ノ納	一一五二〇〇〇〇
屬地アルピリヤ國ノ収納	一七〇四三五八四
雜科歳入	七九二二三四八
全計	二二三三七五七一九八
歳入特収	
各州特税	二四一六四六〇〇〇
公口特税	七四六九三〇七〇
雜料	四二四八六九一

歳入各種	一千八百七十二年
歳入定額	法貨 フランク
公債利息	一一〇九八四三四二九
陸軍資	四五〇〇五〇〇〇
海軍資並ニ屬地ノ費用	一四七六六七六〇三
正部省ノ定額	一三〇六二六〇六〇
其他各省ノ定額	二四六六〇六五二二
租税聚集ノ費	二三八三三七三一四
雜科歳出	一一六二八三〇〇
全計	二二三四七五九二一八
歳出特別	
内務省ノ費用	一九三一八二〇〇〇
公債利息	一一一八五三六六一

全計 歳入二種通計

三二〇五八七七六一
二六六五三八三七二〇

特別賜與

一五五五二一〇〇

總計

三三〇五八七七六一

歳出二種通計

二六五五三四六九七九

以上ノ小表ニ示ス歳入各種ノ内實ニ直税間税ノ集聚
 ハ一千八百七十二年ノ春夏ニ於テ目途ノ如ク聚來セ
 ズ故ニ出入推算ノ上ニテ差引除贏トナラシモノモ却
 テ不足ノ高ニ轉ズベシ夫レ歳計ノ精算ハ通常五六年
 ナ經ズンバユレテ整頓シテ實際ノ整計ヲ公布シガキ
 キモノニシテ例ヘバ一千八百七十二年ニハ同六十七
 年ノ歳計精算簿ヲ公布スルナリ
 先年以來ノ歳計ヲ按スルニ初メ議院ニテ目途ヲ立定
 メテレタル歳計書ニハ歳出入ヲ差引必ズ餘贏ヲ得タ

リト雖此年々實際上ニ於テ多少ノ不足ヲ生セリト云
 一千八百十四年ブルボン家復位王位ニ復セシナリノ
 時ヨリ近ク那勃列翁第三世ノ末年迄多年ノ間年々歳
 計ノ不足ヲ生セシヲ左ニ揭示ス然レモ一千八百六
 十八年同六十九年ノ歳計不足高ハ未ダ同七十二年ニ
 詳細精算ヲナスヲ得ザル故右兩年ノ計ハ全ク推算
 ノミナリ

時世	ブルボン家ノ王代	ルイヒリア王代	第二回ノ共和政治	第二回帝國	歳資不足ノ計
	一千八百十四年ヨリ 同三十年マデ	一千八百三十年ヨリ 同四十八年マデ	一千八百四十八年ヨリ 同五十二年マデ	一千八百五十二年ヨリ 同六十九年マデ	二〇二七三〇〇〇
	同上	同上	同上	同上	九九七八六三〇〇〇
	同上	同上	同上	同上	三五九三七四〇〇〇
	同上	同上	同上	同上	二一三八五三九五〇〇

全計

上全 三五二六〇四九五〇〇

右年々不足ノ計ハ公債ヲ以テコレヲ補ツテ然シテ其債本ハコレヲ各種ニ分テ年々三分四分或ハ五分ノ利ヲ帶ブルモノナリ

一千八百七十年第一月一日於テ計算セシ當時公債ノ總計一百十五億一千六百四十六万九千二百二十一フランクニテ内一百〇六億七千三百十八万九千〇十フランクハ三分ノ利其他ハ四分或ハ五分ノ利タルモノナリ故ニ今年利息通計三億五千八百〇八万七千五百十〇フランクニ及ベリ

前ニ述タル公債ノ外一千八百七十年並ニ同七十一年間戦争ノタメ新債ヲナシタルモノ又大ナリユミニ小

表ヲ附録シテ其計ヲアゲ

新公債	債本計			利息		
	フ	ラ	ソ	フ	ラ	ク
一千八百七十年第八月成	一三二八二八二八九			一五九四〇五九		
同年第十月成	二五二五〇〇〇〇			六〇〇〇〇〇		
一千八百七十一年第六月成	二七七七九五二八〇〇			五二五〇〇〇〇		
一千八百七十二一年第一月成	三〇〇〇〇〇〇〇〇〇			六〇〇〇〇〇〇		
全計	七三五八七三五六三九			一三四四四〇五九		

右新債ノ内第一債ハ三分ノ歳利第二債ハ六分ノ歳利ナリ

一千八百七十年已來ノ新債ニヨリ法國公債利息ノ全計殆ント舊ニ一倍セリ然レモ債本ハ却テ其比例ニ増加セズ〇日耳曼へ拂フヘキ償金並ニ其他國用ニ充ン

ガタメ尙若干ノ公債ヲ起スニ至ルベシ然ルトキハ歳利ノ合計十億フランクニモ及ブヲナラント云

一千八百七十一年第二月二十六日ベルサイ府ニ於ル和親約定ノ條款ニ從ヒ法國ヨリ日國ニ五十億フランクノ償金ヲ拂フヲ約シテ而メ其内二十五億フランクヲ一千八百七十二年ノ末ニ拂ヒタリ其殘金償却ノ期限左ノ如シ

一千八百七十三年第二月一日 五億フランク

一千八百七十四年第三月一日 十億フランク

一千八百七十五年第三月一日 十億フランク

法國公債ノ通計ヲ以テ全國ノ人口ニ分當シユレテ一人毎ニ負擔セシムレバ一千八百七十二年ノ末ニ於テ

一人ニツキ五百十フランクニ當リ而メ又日耳曼ニ贈ル償金ヲ悉ク公債ニナストキハ一人毎ニ分當ノ合計六百二十五フランクニ當ルベシ

先年日耳曼ト戰爭ノ費用ヲ算計スルニ償金其他一般ノ損害迄ヲ合シテ百五十億フランクニオヨベリト云

法國内ニ於テ少シク著シキ都府ニハ必ズ地方債ト云ル其都府限リノ公債アリテ各地ノ費用ニ供ス右地方債モ亦一千八百七十年ヨリ同七十二年間ニ於テ増加スルヲ殆ソド舊エ一倍セリ現今巴里西ノ債ヲ算スルニ十六億フランクアリ

海陸軍制

陸軍

當今法國ノ軍制ハ一千八百七十二年國會ノ定議ニ基
ツキ同七十三年第一月新法ヲ立ラレタリ其第一款ニ
云全國ノ人民悉ク兵籍ニ入ラズンバアルベカラズ第
二並ニ第四款ニ云金ヲ以テ兵役ヲ贖フヲ許サズ第
三款ニ云ク全國ノ人民齡二十歳ヨリ四十歳迄ノ輩常
備軍又ハ預備兵タルハシ
名ヲ兵籍ニ掲グルノ壯士常備ニ在リ五年常備軍ノ預
備兵タルヲ四年各州ノ鎮臺ニ在リ五年鎮臺ノ預備兵
タルヲ六年ナリ
常備軍預備兵トモ寄留ノ土地ヲ定メズ普クユレヲ國
内ニ布置ス然レモ各州ノ鎮臺ハ各其地ヲ定メテ屯兵
スルナリ

全國ノ人民悉ク兵士タルトノ國法ナレモ不得已ノ事
故其他身體ノ形狀ニ依テユレテ免カルモノアリ免
役ノ事故左ノ如シ
一 孤子ニシテ長男タルモノ
二 獨子獨孫
三 兄弟共ニ兵役ニ當ルモノハ兄一人ヲ免ス
四 兄既ニ兵卒タルモノハ弟ノ兵役ヲ免ス
五 長男戰死セシカ又ハ重傷ニテ退隊シ或ハ戰陣ニテ
病死セシモノハ末男ノ兵役ヲ免ス
右五ノ條ノ外工學校ノ生徒文學校等ノ教官宗門ノ教
師ハ悉ク兵役ヲ免ス其他一家ヲ保助スルノ輩或ハ當
時一學科ヲ勉學シオリ其時間ヲ妨ゲガタキモノハ其

地方ノ長ヨリコレヲ特許ス然レモ此特許ハ免役検査官軍務ノ官吏並ニ軍醫等其職ヲ奉スルモノニ權ニ依テコレヲ與フルヲナリ
 一千八百七十二年國會ノ檢テ經レ公計ニ全國陸兵數五十四万五千人アリ内歩軍四十二万五千人騎軍八万四千人雜科兵三万六千人ナリ今コレニ二千八百七十年一年整計ノ兵數ヲ小表ニ掲ゲ以テ各種ノ兵數ヲ示ス

各種兵	昇平ノ日		兵革ノ際	
	人	馬	人	馬
士官	一七七三	一六〇	一八四一	二〇〇
歩兵	二五二六五二	三三四	五一五九三七	四五〇
騎兵	六二七九八	四八一四三	一〇〇二二一	六五〇〇〇
砲兵	三九八八二	一六六四六	六六一三二	四九八三八
工兵	七四八六	八八四	一五四四三	一四〇〇

重騎兵	二四五三五	一四七六九	二五六八八	五二〇〇〇
管事兵	一五〇六六	五四四二	三三三六五	一一〇〇〇
全計	四〇四一九二	八六三六八	七五七七二七	一四三三三八

全國ノ兵軍ヲ分テ六部トナシ一元帥一部ヲ管轄シ又一部ヲ區々ニ小分シテ一大將各區ヲ管ス〇諸砲臺ハ本營各所ニ在テコレヲ管ス當今本營ノ在ル地ハアラ
 スバアヨシベスカンソングールシエスブレエストチ
 ヨルスホーググレンノーブルラングレスラアロチエ
 レーハーブルリリアンマルセルモントペリエー
 ルナンテスベルピグナンサンオンルツローンツール
 ースナリ

海軍

一千八百七十一年法國ノ海軍ヲ算スルニ甲鐵艦六十
 二艘 暗輪艦二百六十四艘 火輪艦六十二艘 帆艦一百十
 三艘アリ 其中最大ナル甲鐵艦ハ一万六千馬力 砲數三
 百一十一門ヲ備ヘ 暗輪艦ハ フレガット 又ハ ユルベット
 形ニテ 其最大ナルモノ一万六千六百八十馬力 砲數三
 百八十六門 或ハ一万有餘馬力ニテ 砲數五百七十四門
 ナ備フルモノアリ 總軍艦ノ砲數合シテ三千〇四十五
 門 機關力合メ九万二千六百二十七馬力ナリ
 法國海軍兵ノ一部分ハ兵籍ニ從ツテ ユレヲ擧ケ又一
 部ハ各員ノ甘願ニ依テ ユレヲ探ルナリ ○海軍兵籍ノ
 方法ハ一千六百八十三年ノ始ニ立定セシモノニシ
 テ 海業ヲ志ガスモノ 齡十八歳ヨリ五十歳迄ノ徒ナシ

テ此籍ニ記名セシム 其人員當時十五万人ヨリ十八万
 人ニ増加セリ
 海軍モ亦大凡陸軍ニ於ルガ如ク 常備預備ノ區別アツ
 テ 定期ノ歸省等ヲ許スヲアリ
 一千八百七十二年ノ定法ニ依リ 陸軍兵籍ニ名ヲ掲ゲ
 タルモノニテモ 當人ノ好ニ應ジテ 海軍兵ニ轉ズルコ
 ナ得ルナリ 當時海軍ヲ五箇所ニ部分シテ 各部ニ水師
 準提督一人ヲ置キ 以テ艦隊ヲ總轄セシム 其五部ノ港
 名左ノ如シ

- | | | | |
|----|---------|----|--------|
| 第一 | シエルブールグ | 第二 | ブレエスト |
| 第三 | ロリエン | 第四 | ロシエホオー |
| 第五 | ツーロン | | |

一千八百七十一年第十二月ニ於テ海軍士官ノ人員ヲ
按スルニ水師提督二人準提督十八人同非役九人第二
等ノ提督三十二人同非役十五人第一等軍艦ノ船將一
百三十二人フレガット船將二百九十人以下士官八百
二十九人機關科六百十人アリ○水夫ノ人員三万九千
五百人其他機關手並ニ造船臺附属ノ水夫醫師等ヲ合
シテ總員七万四千人ナリ然レモ一朝兵革ノ際ニ當テ
ハ十三万人ノ員數ニ増スベシト云

土地 人口

法國ノ土地ハ一千八百七十年ノ戰爭已前ニ其廣サ五
十四万三千〇五十方キロメートル法國ノ即チ二十万
〇七千四百八十英尺方里アツテ然シテユレテ八十九

州ニ分カチ又其州ヲ區分シテ三百七十三郡トシ又其
郡ヲ區分シテ三万七千五百四十八區トセリ○一千八
百六十六年第五月整定ノ戶籍ヲ閱スルニ法國ノ全人
口三千八百〇六万七千〇九十四人ナリシ是則一千八
百六十一年ノ戶籍ヨリ増シタルヲ六十八万人餘ナリ
然ルニ一千八百七十一年日耳曼トノ和議成テ法國ハ
パアライオン州並ニホーライオンモゼルミユルテボスダ
各州ノ諸部ヲ割キタルニ依リ土地ノ廣サ五千五百八
十英尺方里人口一百九十六万四千二百七十三人ヲ失
ヒ全國ノ廣サ遂ニ八十七州五十二万八千五百七十七
方キロメートル即二十万〇一千九百英尺方里トナリ
人口三千六十万〇二千八百二十一人ニ減セリ

一千八百六十九年ノ整計ニ全國惣人口ノ中妻子アル
モノ九百万家農工夫八百万人市街ノ住民三百万人ナ
リント云

國內盛華ノ都街並ニ其人口左ニ揭示ス但シ一千八百
六十六年ノ整計ニ從フナリ

巴里西府 一八二五二七四

リヨン府 三二三九五四

マルセル港 三〇〇一三一

ポードール港 一九四二四一

右ノ内巴里西ノ人口ハ近年ノ戦争後七万五千人有餘
ヲ減ゼシナリ

商務 工業

法國ノ通商ハコレヲニツニ分チ普クナス處ノ商務ス
エルニ外國ノ產物ヲ他チ名チテ萬國貿易ト云ヒ本國自
用ニ給スル物品ヲ輸入シ本國ノ產物ヲ輸出スルモノ
ヲ特別貿易ト稱ス

一千八百五十七年ヨリ同七十一年迄十五年ノ間ニ
萬國貿易ノ品價五十億佛蘭屈ヨリ八十億佛蘭屈ノ高
ニ及ベリ○萬國貿易ハ輸出輸入ノ品價ヲ較スルニ殆
ソド相半バスレモ輸入ノ高稍々多カルベシ然シテ一
千八百五十七年ヨリ同六十一年迄五年間チ平均ス
レバ却テ輸入ハ輸出ヨリ少ク又一千八百六十二年ヨ
リ同七十一年迄十年間チ平均セハ輸入ノ高輸出ヨ
リモ多キナリ

特別貿易ノ品價近ク一千八百七十一年ノ全量ヲ算スルニ輸入ノ高三十三億九千三百二十六万九千〇〇〇フランク輸出ノ高二十六億八千五百六十三万四千〇〇〇フランクナリ一千八百五十七年五ヶ年毎ノ平均高ヲ左ノ表ニ揭示ス

年 紀	本國給用ノ輸入品價	本國產物輸出品價
一千八百五十七年ヨリ 同 六十一年迄 平均一年ニ付	フランク 九四一六一九七〇〇〇 一八八三三三九四〇〇	フランク 九二四三二〇二〇〇〇 一八四八六四〇〇〇〇
一千八百六十二年ヨリ 同 六十六年迄 平均一年ニ付	フランク 一二五八八六五九〇〇〇 二五二七七三一八〇〇	フランク 一四〇七八六六四〇〇〇 二八一五七三二八〇〇
一千八百六十七年ヨリ	フランク	フランク

同 七十二年迄
平均一年ニ付

一五六五八二二八〇〇〇	一四二三六六五三〇〇〇
三一三一六四五〇〇〇	二八四七三三〇六〇〇

以上小表ニ示ス如ク十五ヶ年ノ間輸入ノ品價平均前年本位ノ一百ニ付十二ヶ増加シ輸出品價ハ元高ノ一百ニ付十餘ヶ増スナリ

法國ノ物産ニシテ輸出スルモノハ絲帛類、飲料類ヲ以テ最トシ其他ハ絨布、棉布、麻布、線紐、金銀雜貨等ナリ外國物産ノ輸入スルモノハ棉花、生絲、鋼鐵、生砂糖、羊毛、木材、石炭、靛藍等ナリ

法國商船ノ數ハ一千八百七十年第一月ノ計ニ火輪船ノ大小合シテ四百五十四艘噸數ノ總計十四万二千九百四十九噸機力ノ數五万七千五百二十三馬力大小ノ

帆船ヲ合シテ一万五千三百二十四艘合噸數一百〇一
 万七千一百四十三噸アリ然シテ其商船ノ内地中海ニ
 於ル各港ニ屬スルモノ蒸氣船帆船ヲ合シテ三千六百
 八十一艘大面洋ニ於ル各港ニ屬スルモノ一万二千〇
 九十七艘ナリ
 法國ノ鐵道ヲ盛シニ建築セシメハ僅カニ一千八百四
 十年已來ニ始リ其已前ハ國內ノ鐵道實ニ微々タルモ
 ノナリシニ始メ國內ノ鐵道ヲ政府ニテ建築シユレテ
 官有トナスノ方法ナリシガ一千八百四十二年ノ立法
 並ニ同五十八年五十九年ノ改定ニ依リ此業ヲ悉ク私
 社ニ委テ唯ダ官ニテハ要用ノ補助ヲナスノミ
 全國ノ鐵道殆ンド皆六大會社ニ屬シバリリヨシ並ニ

地中海濱ニ至ルノ鐵道其二ハ法國ノ東部ニ於ルモノ
 其三ハオリヤンスニ於ルモノ其四ハ法國ノ西部ニ於
 ルモノ其五ハ北部ニ於ルモノ其六ハ南部ニ於ルモノ
 ナリ今茲ニ一千八百六十八年并ニ六十九年ノ整算ナ
 ル全國鐵道ノ長サ并ニ其歲ノ金高旅客ノ全數輸送貨
 物ノ全量統計ヲ小表ニ作シテ掲載ス

年紀	鐵道ノ長サ キロメートル	歲入ノ金高 フランクス	旅客ノ數 キロメートルニ付歲入 フランクス	輸送貨物ノ量 噸
一千八百六十八年	一六二二〇	六七五五六九三二一	四二六〇四	一〇二八五七一六四一九七三九三四
一千八百六十九年	一六九七三	六九六四七二三四九	四二三〇〇	一一一六四二八四四四〇一三四三三

一千八百七十一年同七十二年ノ統計ハ爭亂ノ際ニテ
 ヲレテ整フルコトアタハザレバナリ且其頃多少ノ鐵道
 新築ノ業ヲ半バニセシモノアリタレモ皆兵亂ノ爲ニ

此業ヲ廢セリト云

近時日耳曼トノ和議ニ依テ割カレタル地方ニ在ル東部會社ノ鉄道凡ソ長サ七百キロメートルヲ日耳曼政府ニ賣渡シタリ其價三億二千五百萬フランクナリ

法國内ノ電信線路ハ其長サ合シテ四萬〇九百四十二キロメートルニシテ其銅線ノ全計ハ十一萬三千六百六十九キロメートルナリ〇一千八百六十九年間ニ外國ニ通致シタル電信ノ數六十六萬九千二百三十五狀内地ニシテ送リタルモノ四百〇八萬五千四百〇八狀ナリ然シテ其取價ハ外國通報一狀ニ付平均六フランク八十四サンチーム内地信報ハ一フランク四十一サンチームニ當ル

一千八百六十九年中ニ法國驛遞寮ニテ送致シタル信書ノ數三億六千四百七十四萬六千六百五十〇狀其取價七千五百七十四萬五千九百八十〇フランク其他新聞紙類並ニ封物類ノ輸送數三億六千七百十八萬六千八百〇〇其價一千〇二十一萬六千二百三十五フランクナリ

屬地

法國ノ屬地並ニ法ノ保護ヲ受ル國ハ亞細亞亞弗利加亞米利加並ニ太平洋群島ニ棋布セリ其地名並ニ土地ノ廣狹人口ノ多寡トモ左ノ表ニ掲載ス然レモ亞弗利加ニ在ル法領ノ内アルゼリヤ國名ハ別ニ一政府ヲ立テ法律等モ他ノ屬地トハ頗ル異ルモノナレバ茲ニユ

レヲ除キ他卷ニ詳記スベシ

屬地ノ地名	獲地ノ年	土地ノ廣 方キロメートル	人口
亞細亞			
印度地方ニ在領地	一千六百七十九年	五〇九	二二七〇六三
交趾	一千八百六十一年	二二三三八〇	五〇二一一六
同	一千八百六十七年	三三八六四	四七七〇〇〇
計		五六七五三	計一二〇六一七九
亞弗利加			
セネガル地方	一千六百三十七年	二五〇〇〇〇	六〇七三九八
エールドコースト	一千八百四十三年	二〇〇〇〇	一八六一三三
並ニカブーン	一千六百四十九年	二五一一	二〇七八八六
レウニオン島	一千六百三十五年	九一〇	六一一〇
サンマリイ島	一千八百四十三年	五二〇	二〇七一七
マヨット			
ノジイベエー			
島			
計		二七三九四一	計一〇二八二四四
亞米利加			
グイアナ	一千六百〇四年	九〇八五四	二四四三二

グアテマール地方	一千六百三十四年	一六四五	一五二五九四
マルチコツク	一千六百三十五年	九八八	一三九一〇九
サンピリア並ニ	一千六百三十五年	二二〇	三七九九
ミクエロン			
計		九三六九七	計三一八九三四
太平洋群島			
新カレドニヤ	一千八百五十四年	一七四〇〇	二九〇〇〇
ロヤルチイ島	一千八百六十四年	二二四七	一五〇〇〇
マルケサス島	一千八百四十一年	一二四四	一〇〇〇〇
計		二〇七九一	計五四〇〇〇
總計		一一一四七八二	總計
		二六〇七三五七	

當今法國ノ保護ヲ受ル國々如左

亞細亞ノ内 カンボツシ王國

太平洋群島ノ内 タヒチイ島 ツアマモツ一群島

ガムビエー島 ツプアイ 並ニ パビツ一島

右各地ノ廣サ合シテ九万一千七百六十九方キロメー
トル人口合シテ一百〇四万三千八百九十七人ナリ

貨幣

一百サンナイム } 我十九錢一五ニ當ル
一フランク

金貨二十フランク 我三圓八十三錢ニ當ル

尺度衡量

法 國	英 國	日 本
一 カラム	一五四三四 グレイントロイ	二分六厘八毛二四一〇三
一 キロガラム	二二〇五 ポンド	二百六十八匁一分一厘
一 シンタル メトリツシ全	二二〇〇〇〇 ポンド	二十六貫八百十一匁四分
一 リトル	一七六 インペリアル バインツ	五合五勺〇六九六
一 ヘクトリトル	二二一 インペリアル ガロン	五斗五升〇六九六
液量		
全 量	常量	

一 メートル	尺	三二八フイート
一 キロメートル	全	一〇九三ヤードズ
		三尺二寸九分二厘九
		三百二十九丈二尺九寸

必携 各國年鑑 第二册 終

正誤

第一册ノ内

九葉州郡ノ(祖)税

ハ租ニ改ム

十九葉歳出各種表中養老(科)ハ料、、、

二十三葉陸軍表中治(療)科ハ療、、、

第二册ノ内

二葉ノ註丁賃ノ(各)

ハ名、、、

四葉ノ註(邸)邑

ハ村、、、

五葉(徴)サ

ハ徴、、、

